

令和8年度調査地区一覧

| No | 調査名 | 調査地区 | | | 期間 | 担当係 | 調査内容 |
|----|------------------------------------|-------|------|-------|-------|-------|--|
| | | 地区名 | 関係県 | 関係市町村 | | | |
| 1 | 農業生産基盤整備推進調査（希少動植物の移動・移植手法等検討調査） | 九州管内 | 管内全域 | — | R7～9 | 環境保全係 | 農業農村整備事業で実施してきた動植物の移動に係る事例等を収集・整理するとともに、移動場所の選定や移動の手順、適当な移動先がない場合の代替環境の整備等について、体系的に整理し、技術資料として取りまとめ、農村地域の生物多様性保全に資する。 |
| 2 | 農業生産基盤整備推進調査（農村地域における脱炭素効果の可視化調査） | 駅館川地区 | 大分県 | 宇佐市 | R7～8 | 環境保全係 | 脱炭素効果が見える化する手法を開発するため、多面的機能支払交付金による支援対象である「農地への侵入竹の防止」によって伐採された竹材を、適切な温度管理のもとに加熱・炭化（バイオ炭を生成）して農地施用（土層改良材及び疎水材利用を含む）する複合的な取組について検討する。 |
| 3 | 生物多様性保全調査（農用地保全のためのビオトープ整備手法等検討調査） | 山江地区 | 熊本県 | 山江村 | R8～10 | 環境保全係 | 水田及び周辺水域において、水稲の長期中干しによる水田生態系への影響を把握し、その影響緩和に向けた生物の避難場所の効果的・効率的な整備・維持管理手法及び生態系配慮に関する留意事項等について検討し、ガイドブックを作成することで、多面的機能の維持・発揮を図るための活動等に取り組む農業団体等を支援する。 |
| 参考 | 農業・農村の有する多面的機能の普及・啓発に向けた取組 | 九州管内 | 全県 | | H23～ | 環境保全係 | 農業・農村が食料の安定供給のみならず、持続的な生産活動を通じて国土保全等に重要な役割を果たしていること（多面的機能）への国民の理解を深めるため、消費者を対象に多面的機能を気づき、身近に感じてもらい、保全活動への積極的な参加を促すための普及・啓発活動を実施する。 |